

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第5区分

【発行日】平成26年11月6日(2014.11.6)

【公開番号】特開2013-75595(P2013-75595A)

【公開日】平成25年4月25日(2013.4.25)

【年通号数】公開・登録公報2013-020

【出願番号】特願2011-216072(P2011-216072)

【国際特許分類】

B 6 0 T 13/74 (2006.01)

B 6 0 T 8/172 (2006.01)

【F I】

B 6 0 T 13/74 Z

B 6 0 T 8/172 Z

【手続補正書】

【提出日】平成26年9月19日(2014.9.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ブレーキペダルに連結された入力ロッドの作動に応じて制御される電動モータと、ハウジングに設けられて前記電動モータの駆動によりマスタシリンダのピストンを推進するピストン推進部材と、

前記ピストン推進部材に付与される抵抗に応じて変化する前記電動モータの電流値に基づき前記電動モータをフィードバック制御する制御装置と、

前記ピストン推進部材が、非制動時の初期位置から前記マスタシリンダのピストンが液圧を発生する液圧発生位置の直前の所定位置まで移動したときに、前記ピストン推進部材へ所定の抵抗を付与する抵抗付与機構と、

を備えることを特徴とする電動倍力装置。

【請求項2】

前記抵抗付与機構は、一端が前記ハウジングに取り付けられる戻しばねを有し、該戻しばねの他端に前記所定位置まで移動した前記ピストン推進部材を当接させることで、前記ピストン推進部材へ抵抗を付与することを特徴とする請求項1に記載の電動倍力装置。

【請求項3】

前記抵抗付与機構は、前記ハウジングに設けられる突起を有し、該突起に前記所定位置まで移動した前記ピストン推進部材を接触させることで、前記ピストン推進部材へ抵抗を付与することを特徴とする請求項1に記載の電動倍力装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

上記課題を解決するために、本発明の電動倍力装置は、ブレーキペダルに連結された入力ロッドの作動に応じて制御される電動モータと、ハウジングに設けられて前記電動モータの駆動によりマスタシリンダのピストンを推進するピストン推進部材と、前記ピストン

推進部材に付与される抵抗に応じて変化する前記電動モータの電流値に基づき前記電動モータをフィードバック制御する制御装置と、前記ピストン推進部材が、非制動時の初期位置から前記マスタシリンダのピストンが液圧を発生する液圧発生位置の直前の所定位置まで移動したときに、前記ピストン推進部材へ所定の抵抗を付与する抵抗付与機構と、を備えることを特徴とする。